



# 間税だより

発行者／広島国税局間税会連合会 会長 高橋 正  
事務局／〒730-0031 広島市中区紙屋町1-3-8 (株)広島銀行内 TEL082-242-1166 FAX082-242-1318  
発行責任者／吉岡文朗



(写真提供…鳥取県)

## 山陰海岸ジオパーク「浦富海岸（千貫松島）」

山陰海岸ジオパークは、鳥取県、兵庫県、京都府にまたがる山陰海岸国立公園を中心とした日本のジオパークである。山陰海岸に存在する地質遺産を保護・研究・ジオツーリズムに活用し、教育や地域社会に貢献することを目的としている。2008年に日本ジオパークの認定を受け、2009年には世界候補地に選定された。

### 〈目次〉

局間連第37回通常総会 …………… 2	局間連・県間連の活動 …………… 9～10
挨拶 …………… 3	単位会の活動 …………… 11
祝辞 …………… 4～5	全間連委員会報告 …………… 12～13
平成21年度収支決算書・事業活動報告… 6	会員増強 …………… 14
平成22年度収支予算(案)・事業計画(案)… 7	広島局間連からのお知らせ …………… 15
総会を終えて～県間連会長挨拶～ …… 8	会員を訪ねて …………… 16

# 広島国税局間税会連合会第37回通常総会を開催

## 第37回通常総会

去る、5月20日（木）に、広島市のホテルセンチュリー21広島において、広島国税局間税会連合会第37回通常総会が開催されました。



当日は、来賓として広島国税局から氏兼局長、齋川課税第二部長、中村消費税課長、また、全国間税会総連合会から江川専務理事、その他、友誼団体から、森本中国地方法人會連合會會長、坪石中国青色申告會連合會會長、原田中国税理士會副會長、山崎中国納税貯蓄組合連合會會長をお迎えしました。

通常総会では、高橋會長が議長に選任され、平成21年度（第37期）事業並びに収支決算、役員改選の件、平成22年度（第38期）収支予算（案）並びに事業計画（案）等が審議され、各議案とも満場一致で可決承認されました。

議事終了後、広島国税局氏兼局長と全国間税会総連合会江川専務理事よりご祝辞をいただきました。

また、総会に先立ち、経済産業省中国経

済産業局の長尾局長より、『『ど真中』中国地域を元気発信地へ！』と題し講演会を開催いたしました。



総会終了後の懇親会においては、広島交響楽団の弦楽四重奏の生演奏をバックに大いに盛り上がりました。



## 常任理事会

通常総会当日、総会に先立ち、広島国税局から中村消費税課長、また全国間税会総連合会から江川専務理事をお迎えし、常任理事会を開催しました。

常任理事会では、中村消費税課長よりごあいさつをいただき、総会で審議される議案が協議され、常任理事会の承認を得ました。

全間連 平成21年度「税の標語」最優秀作品

## 「安心な暮らし支える 消費税」

鳥取県間税会連合会

鳥取間税会  
倉吉間税会  
米子間税会





# 〈 挨拶 〉

広島国税局間税会連合会 会長

高橋 正

まずは、広島国税局の氏兼局長様、全国間税会総連合会の江川専務理事様をはじめ、ご来賓の皆様には、ご多忙にもかかわらず、本日の総会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

また、中国経済産業局の長尾局長様には、先ほど大変有意義かつ興味深いお話をお聞かせいただきまして、ありがとうございます。

私は、ちょうど1年前の総会におきまして、会長を拝命いたしました。この1年間、会長を無事務めることができましたのも、本日もご臨席のみなさまのご支援とご協力の賜物と、深く感謝いたしております。

さて、この1年間の間税会の状況を見ますと、景気の低迷もあって、残念ながら、会員数は141者の減少となりました。

しかし一方で、会員の増加している単位会もあり、特に、防府と松江間税会におかれましては、積極的な活動により、目標である20%の増加を達成されました。厳しい環境の中、大変なご苦勞があったものと、ご推察申し上げます。また、広島西、津山、岡山東、岡山西の4単位会におかれましては、青年部および女性部が新たに発足致しました。青年部、女性部の発足は、組織の活性化に向けた大きな一歩であり、大変喜ばし

いことです。

会員増強、青年部、女性部の立ち上げにご尽力いただきました皆様に感謝致しますとともに、この流れを途切れさせることなく、組織の拡充に向け、取り組んでまいりたいと考えております。

一方、消費税をめぐる動向は、この1年の間に大きく変化致しました。昨年の政権交代によって、消費税率引上げの議論は凍結されました。しかし、一方で、歳出は大きく増加し、国債を大量に発行しなければ、財源が確保できない状況となっています。

国の財政悪化により、危機的状況となったギリシャの例は、決して他人ごとではなく、わが国も財政健全化に向け、早急に舵を切る必要があります。そのためには、消費税についての議論は避けて通れず、私ども間税会の役割も、益々重要になって行くものと考えております。皆様方におかれましても、これまで同様、間税会の活動に対するご支援、ご協力を何卒宜しくお願い致します。

最後になりましたが、本日もご列席の皆様のご健勝とご多幸ならびに、本会の発展を祈念いたしまして、私のあいさつとさせていただきます。



## 〈 祝 辞 〉

広島国税局長

氏兼 裕之

(現 名古屋国税局長)

本日ここに、広島国税局間税会連合会第37回総会が、関係者多数のご臨席のもと、盛大に開催され、議案の審議も全て滞りなく終了されましたことを、心からお慶び申し上げます。

また、会員の皆様方には、平素から税務行政全般につきまして、深いご理解とご協力を賜っておりますことを、本席をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

間税会は、消費税をはじめとする間接税に関する税務協力団体として創設されて以来、これまで税知識の普及と納税道義の高揚に向けた活動をされてこられました。最近では、将来の我が国を担う若い世代が租税について正しい知識を有することが重要というご認識のもと、中学校・高校において消費税に関するディベートや小論文発表会に取り組まれ、租税教育の面でも成果を挙げられるなど、時代の要請に応え、常に創意工夫を凝らしつつ積極的に社会に貢献されてきました。

これまでの間税会役員、会員の皆様方のご努力、ご労苦に対しまして、心から敬意を表する次第であります。

さて、今更言うまでもありませんが、現在我が国の財政は非常に厳しい状況にあります。今年度の国の予算規模は92兆円と過去最大であります一方、税収は37兆円に過ぎず、これは、昭和59、60年あたりの水準であり、公債発行額の44兆円を大きく下回っております。こうした事態は、戦後の混乱期の昭和21年以来のことです。

国と地方を合わせた政府の借入残高は900兆円弱、GDP比で2倍弱に達しています。更にある国際機関によりますと、このままでは2015年にはGDPの2.5倍にもなると予測されています。

現在欧州ではギリシャをはじめとするユーロ圏諸国の財政赤字問題が、世界経済に甚大な混乱をもたらすと危機感から大きな注目を集めていますが、このような中で、我が国財政は主要先進国の中で最も深刻な状況にあることを再認識する必要があるのではないかと思います。

翻って、税務行政の役割は、どのような時代にあっても、法令に基づき適正・公平な課税を行うということですが、最近私どもを取り巻く

環境には大きな変化があります。高齢化社会の進展等により申告件数は拡大していることに加え、経済・社会のグローバル化・IT化により、税務行政の対象である個人・企業の経済活動は拡大し、更に複雑化しています。

「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」という私どもに課せられた使命を果たしていくため、このような経済・社会情勢の変化に的確に対応すべく鋭意努力を続けているところでありますが、更に事務の効率化・合理化、経費削減等を図りつつ、納税者の利便性の向上に努めるとともに、他方で悪質な納税者に対しては厳正に対処するなどして国民の皆様への税務行政への信頼を確かなものにしていく必要があると決意を新たにしているところであります。

こうした観点からの国税庁の当面の最重要課題のひとつに、電子申告(e-Tax)の普及拡大があります。これにつきましては、その趣旨を十分にご理解いただき、間税会を挙げて会員の皆様の利用促進に積極的に取り組んでいただいているところでありまして、深く感謝申し上げますとともに、今後とも更なるご協力をお願い申し上げます。

さて、皆様方に関係の深い消費税に関してですが、最近では、虚偽の申告により不正に還付金を得るケースもまま見受けられるほか、景気停滞を反映して、滞納残高につきましても、全税目に占める消費税の割合は増加傾向にあります。言うまでもなく消費税は、我が国の税制上、主要な税目の一つであり、また預り金的性格を有するものであります。このため、国民の皆様への関心は極めて高く、他の税目に比べても一層適正な税務執行が求められております。

したがって、消費税の適正・厳格な調査・賦課、滞納残高の圧縮は、私ども税務当局が取り組む最重要施策のひとつであり、消費税の適正課税が実現されることこそが、税制・税務行政に対する納税者の皆様の信認確保に直結すると考えている次第であります。

間税会の皆様には、こうした消費税の重要性・特殊性に鑑み、今後とも消費税・間接税に対するよき理解者としてなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、それぞれの地域社会での積極的な啓蒙活動に大いに期待いたしているところであります。

終わりに当たりまして、広島国税局間税会連合会及び傘下の各間税会の今後の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご事業のご繁栄を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

# 〈 祝 辞 〉



全国間税会総連合会 会長

大谷 信義

ただ今、広島国税局間税会連合会第三十七回通常総会の全議案の審議が滞りなく終了され、誠にめでたうございます。

広島局間連の皆様には、平素、全間連の会務運営につきまして、深いご理解とご協力をいただいておりますことに心から感謝いたしております。

また、氏兼広島国税局長殿をはじめ国税ご当局の幹部の方々には、間税会に対しまして、深いご理解のもとにご指導・ご支援を賜っております。この機会にあらためて厚く御礼申し上げます。

さて、私ども間税会がかかわり合いを持つ消費税につきましては、次の衆議院議員選挙が行われるまでは、税率の引上げは行わないこととされていますが、厳しい財政事情を背景として、人口の少子・長寿化に伴う福祉財源等の確保の必要性や、財政の健全化の観点などから、いずれその引上げをめぐる議論が、広く行われることになると思われま。

その際、消費税を理解し、支持する団体としての間税会が、この問題に対しどのような見解を表明し、どのように対処するのかをめぐって、間税会の動向が注目される日がやってくるものと存じます。

そのためにも、間税会の組織を拡大強化し、活発な事業活動を展開することを通じて、間税会の存在感を高め、発言力を強め

ることが肝要であります。

このような背景を念頭におきながら、本年度の事業活動といたしまして、従来から大変好評を博しています「世界の消費税」図柄刷り込みクリアファイルの配付、「税の標語」の募集と活用を更に拡大するとともに、納税資金備蓄運動など消費税完納運動をより推進して参りたいと存じます。

さらに、国税当局が重点課題としております国税電子申告・納税システム、いわゆる<sup>イータックス</sup>e-Taxの周知・利用促進にも積極的に取り組んで参りたいと存じますので、ご理解の上ご尽力を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、貴連合会及び傘下の各会の益々のご発展と、皆様のご繁栄を祈念いたします。

また、国税ご当局の一層のご指導、友誼団体のご厚誼をお願い申し上げますとともに、ご臨席の皆様様の益々のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。



大谷会長の祝辞を代読される江川専務理事

# 平成21年度(第37期)収支決算書

自 平成21年4月 1日  
至 平成22年3月31日

## 1 一般会計

収入の部 単位：円

科 目	予 算	決 算
前期繰越金	6,306,527	6,306,527
会 費	8,270,000	8,177,800
広 告 料	400,000	440,000
雑 収 入	100,000	89,313
合 計	15,076,527	15,013,640

支出の部 単位：円

科 目	予 算	決 算
会 議 費	1,200,000	1,190,777
分 担 金	1,560,000	1,560,000
事 業 費	2,000,000	1,637,584
印 刷 費	150,000	183,835
給 与 費	1,500,000	826,500
通 信 費	750,000	697,613
旅 費 交 通 費 等	1,000,000	758,380
家 賃 等 管 理 費	650,000	162,504
事 務 用 品 費	70,000	277,098
慶 弔 費	100,000	130,000
全間連行事参加助成金	100,000	52,000
事 務 委 託 費	0	682,500
諸 雑 費	70,000	175,315
小 計	9,150,000	8,334,106
次 期 繰 越 金	5,926,527	6,679,534
合 計	15,076,527	15,013,640

貸借対照表 単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
普通預金	7,362,034	未払金(※)	682,500
		次期繰越金	6,679,534
合 計	7,362,034	合 計	7,362,034

(※) 事務委託費:月額136,500円×5ヵ月分(H21.11月～H22.3月)  
H22年4月30日支払済

## 2 特別会計

収入の部 単位：円

科 目	金 額
前期繰越金	2,303,024
雑 収 入	649
合 計	2,303,673

支出の部 単位：円

科 目	金 額
全国大会参加助成金	299,000
創立35周年記念	358,912
小 計	657,912
次期繰越金	1,645,761
合 計	2,303,673

貸借対照表 単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
普通預金	1,645,761	次期繰越金	1,645,761
合 計	1,645,761	合 計	1,645,761

# 平成21年度(第37期)事業活動報告

自 平成21年4月 1日  
至 平成22年3月31日

活 動 実 績	
行事名等	内 容
会員増強 ならびに 組織の拡充	(1)平成21年度会員数 (22年4月1日現在:会費対象数):8,285者 (21年4月1日対比▲141者)  (2)20%増員達成単体会 (各年4月1日現在の会員数が対象) 防府間税会(201者→256者 増加率27%) 松江間税会(201者→252者 増加率25%)  (3)女性部青年部設立状況: 広島西間税会(青年部:21年5月) 津山間税会(女性部・青年部:21年6月) 岡山東間税会(女性部・青年部:21年12月) 岡山西間税会(女性部:21年12月)
総会	21年5月13日開催
役員会	21. 4. 7 正副会長会議開催 21.11. 4 21. 5.13 常任理事会開催
専門委員会	21. 4. 7 委員長会議開催 21. 7. 6 専門委員会合同委員会開催 21. 6.18 21.11.26 広報委員会開催 22. 3. 9
業種別部会ごとの活動	21.10.15 揮発油部会:芸防税務懇話会 21.10.22 揮発油部会:水島税務懇話会 21.11.10 石油ガス部会:研修会実施 22. 2.12外 印紙税部会:研修会実施 22. 2.15 飲料部会:研修会実施
税を考える週間の関連行事	(1)平成21年度「税の標語」募集: 広島局関連応募総数2,126点 ⇒最優秀賞1点(広島西間税会)、 佳作2点、入選7点 (2)各単体会において、クリアーファイル等の配布、 座談会等を実施
行政協力に対する活動	(1)租税教育の実施:小中高校での租税教室等 を7単体会で実施 (2)e-Taxの普及促進:各単体会において、チラシ等の配布
行政に対する提言活動	消費税に関するアンケート実施(21年4月)。全 間連を通じて、財務大臣等に提言
全間連関係行事	21. 5.12 広報委員会開催 21. 6.22 揮発油税中央セミナー開催 21. 6.26 青年部役員会開催 21. 7.15 財務委員会開催 21. 7.16 会務運営委員会開催 21. 7.17 総務委員会開催 21. 7.21 税制委員会開催 21. 7.22 常任理事会開催 正副局長会議開催 21. 8. 7 事務局長会議開催  21. 9.28 通常総会(さいたま市にて開催 (出席者数:23名)) 常任理事会開催 正副会長会議開催 青年部・女性部通常総会開催 21.11.25 消費税中央セミナー開催  22. 1.25 常任理事会開催 正副会長会議開催 税制委員会開催 納税功労表彰受彰祝賀会、祝賀 交歓会開催 22. 2.16 女性部役員会開催 22. 2.19 モデル会会長会同開催 (広島西間税会出席)

## 平成22年度(第38期)収支予算(案)

自 平成22年4月 1日  
至 平成23年3月31日

### 1 一般会計

#### 収入の部

単位：円

科 目	前年度実績	予 算	実績対比
前期繰越金	6,306,527	6,679,534	373,007
会 費	8,177,800	7,994,000	△183,800
広 告 料	440,000	440,000	0
雑 収 入	89,313	50,000	△39,313
合 計	15,013,640	15,163,534	149,894

#### 支出の部

単位：円

科 目	前年度実績	予 算	実績対比
会 議 費	1,190,777	1,200,000	9,223
分 担 金	1,560,000	1,560,000	0
事 業 費	1,637,584	2,650,000	1,012,416
印 刷 費	183,835	200,000	16,165
給 与 等	826,500	0	△826,500
事務委託費	682,500	1,638,000	955,500
通 信 費	697,613	700,000	2,387
旅費交通費等	758,380	800,000	41,620
家賃等管理費	162,504	0	△162,504
事務用品費	277,098	400,000	122,902
慶 弔 費	130,000	100,000	△30,000
全間連行事参加助成金	52,000	100,000	48,000
特別会計への繰出支出	0	500,000	500,000
諸 雑 費	175,315	70,000	△105,315
小 計	8,334,106	9,918,000	1,583,894
次期繰越金	6,679,534	5,245,534	△1,434,000
合 計	15,013,640	15,163,534	149,894

### 2 特別会計

#### 収入の部

単位：円

科 目	前年度実績	予 算	実績対比
前期繰越金	2,303,024	1,645,761	△657,263
雑 収 入	649	500	△149
一般会計からの繰入収入	0	500,000	500,000
合 計	2,303,673	2,146,261	△157,412

#### 支出の部

単位：円

科 目	前年度実績	予 算	実績対比
全国大会参加助成金	299,000	300,000	1,000
創立35周年記念	358,912	0	△358,912
小 計	657,912	300,000	△357,912
次期繰越金	1,645,761	1,846,261	200,500
合 計	2,303,673	2,146,261	△157,412

## 平成22年度(第38期)事業計画(案)

自 平成22年4月 1日  
至 平成23年3月31日

活 動 計 画	
行事名等	内 容
会員増強 ならびに 組 織 の 拡 充	(1)平成22年度における会員数を局間連 は9,000者を目標とする。 (2)単位会は20%の会員数増員を目標と する(最低会員数100者) (3)青年部・女性部の結成並びに育成
総 会	・22年5月20日(木)
役 員 会	・正副会長会議22年4月12日(火)外 ・常任理事会 22年5月20日(木)外
専 門 委 員 会	・委員長会議：22年6月 ・総務委員会、財務委員会、会務運営 委員会、税制委員会：22年6月 ・広報委員会：22年7月外
業種別部会 ごとの活動	・各部会の特性を生かし積極的に活動 する(引続き消費税の説明会等を開 催する)
税を考える 週 間 の 関 連 行 事	・単位会・県間連・業種別部会ごとに 「税を考える週間」中に行事等を開 催「税の標語募集」(22年11月)
行政協力に 対する活動	・e-Taxの普及推進・租税教育の推進 ・消費税の適正申告・期限内納税の実 践及び広報
行 政 に 対する提言	・税制及びその執行に対する意見・要 望の集約等
全 間 連 関 係 行 事	・通常総会 (22年10月高松) ・正副会長会議 (22年7月外) ・事務局長会議 (21年8月) ・総務委員会 (22年7月) ・財務委員会 (22年7月) ・会務運営委員会 (22年7月) ・広報委員会 (22年5月外) ・税制委員会 (22年7月) ・青年部・女性部通常総会 (22年10月高松) ・青年部役員会 (22年6月外) ・女性部役員会 ・揮発油税中央セミナー (22年6月) ・消費税中央セミナー (22年11月) ・納税功労表彰受彰祝賀会及び祝賀交 歓会 (平成23年1月)
その他広報 活動の充実	・広島局間連ホームページ作成



広島県間税会連合会

会長 佐々木秀隆

今年度の活動方針として、会員数の10%増員をめざし、単位会へ講演会協賛金、会員増強助成金、目標達成援助金を支給するなどの単位会増員支援策を盛り込むと共に、e-Taxの普及拡大など税務活動の充実を目指して行く方針。また、私の妻の遺産をもとに設立した、財団法人「秀里会」の運用資金を用いて今後広島県間連の活動を支援して行く方針です。



山口県間税会連合会

会長 唐下善次郎

山口県間税会連合会会長に再任されました、唐下でございます。

皆様方には連合会の運営につきましては、格別のご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。皆様ご承知の通り、わが国では財政健全化の問題が焦燥の急となっております。

間税会に関わりの深い消費税引上げの議論も今後ますます活発化することが予想されます。

間税会の事業活動を通じて私達も積極的に意見具申を行いたいと思います。

皆様方の一層のご支援をお願い申し上げます。



岡山県間税会連合会

会長 浅野益弘

21年度に、岡山東・岡山西・津山間税会に女性部・青年部を立ち上げる事が出来たのは、ひとえに税務当局のご指導をいただいた結果と考えており、厚くお礼申し上げます。

県間連は、税務行政に協力することを基本に、消費税をはじめとする間接税の会として、税知識の周知、税に関する研修会、会報誌による税務情報の提供など行っていききたいと思います。

本年は、香川県で、全間連の通常総会が開催されますが、この機会に本県も全国の間税会の皆様と、会員相互の友好を深めていききたいと思います。



島根県間税会連合会

会長 大谷厚郎

先般の参議院選挙で論点となったように、今後、消費税が一層大きな位置を占めることは確実ですが、目の前の財源確保ではなく、全体の税制の中で消費税論議が重要だと思います。私たち自らが正しく税を理解し、その上で正しい税知識の普及、租税教育等が、私たち間税会の大きな役割ではないかと考えます。島根間税会連合会では、県内各単位会の活動支援や、そのための情報交換を第一の活動方針としたいと考えます。



鳥取県間税会連合会

会長 濱上正夫

消費税は基幹三税の中でも安定財源として重要性が年々高まってきております。そのような時代の趨勢があるにもかかわらず、関税会の会員数は減少傾向を示しており、鳥取県内の間税会も決して例外ではありません。

本年度も会員増強の推進を柱として、組織拡充、租税教育などに力を入れて行く所存でございます。



# 局間連・県間連の活動

## 局間連

### ●合同委員会●

去る、7月7日（水）、ひろしまハイビル21（広島市中区）において、広島国税局の中村消費税課長をお迎えし、専門委員会「合同委員会」を開催しました。

局間連の総務・財務・会務運営・広報・税制の各専門委員会から16名、局間連及び事務局から4名の総勢20名が出席しました。

まず、蔵田副会長、中村消費税課長のあいさつの後、各委員長から全間連の各委員会出席に向けた意見に続き活発な意見交換、情報交換が行われ、今後の活動に向けた話し合いが行われました。

## 県間連

### ●広島県間連●

去る、6月7日（月）、ホテルセンチュリー21広島で広島県間税会連合会第22回通常総会を開催しました。

当日は、広島国税局の齋川課税第二部長、中村消費税課長、甲斐広島東税務署長、丹下広島南税務署長、石井広島西税務署長、佐々木広島北税務署長、岩見呉税務署長、田中福山税務署長、村元廿日市税務署長、川邊海田税務署長、速水広島北税務署法人課税第一部門統括官、(社)広島県法人会連合会大年副会長、広島県納税貯蓄組合連合会山崎副会長をお迎えしました。

総会後の懇親会では、今後の活動について意見交換され、大いに盛り上がりました。

### ●山口県間連●

去る、7月3日（土）～7月4日（日）にかけて、山口県間税会連合会にて初の研修旅行を開催しました。研修内容は、①松江間

税会との意見交換及び交流会 ②島根原子力発電所見学で、参加者は、岩国間税会・徳山間税会・防府間税会・厚狭間税会・下関間税会・宇部間税会より総勢27名の参加がありました。

①松江間税会との意見交換を、松江間税会から4名の参加者を得て、総勢31名でホテル松の湯（松江市玉造）で行いました。唐下会長・大谷会長（松江）の挨拶で会議が始まり、各間税会の問題点・事業内容について有意義な意見交換することが出来ました。

②島根原子力発電所見学では、松江原発の見学ができ、今後、省エネへの取り組みが急務であることを痛感しました。

本研修を振り返り、松江間税会のみならず、山口県間税会連合会の参加者の皆様とも楽しく交流を深める機会となり、有意義な2日間を過ごすことができました。

### ●岡山県間連●

去る、6月23日、メルパルク岡山で岡山県間税会連合会第22回通常総会が開催されました。



当日は、広島国税局から齋川課税第二部長、中村消費税課長、そして、桂岡山東税務署長、原岡山西税務署長、榎崎倉敷税務署長、金田津山税務署長、岡山東税務署小松法人課税第一部門統括官、岡山県の江尻総務部参与をお迎えしました。

また本年の総会は、岡山東・岡山西・津山間税会に女性部・青年部が立ち上がって初めての総会であり、総会後の懇親会では、

それぞれの女性部・青年部長も参加し、今後の活動について意見交換され大いに盛り上がりました。



### ●島根県間連●

去る、4月27日（火）、ホテル一畑（松江市）において第22回の通常総会が開催され、広島国税局から齋川課税第二部長、中村消費税課長、そして藤原松江税務署長、越川益田税務署長にご臨席をいただきました。

総会終了後は、広島国税局の齋川課税第二部長による「税務行政の現状と課題」と題する講演会を開催いたしました。そして、講演終了後は懇親会にて有意義な情報交換の場を設けることが出来ました。

### ●鳥取県間連●

去る、6月15日（火）ホテルセントパレス倉吉（倉吉市）において鳥取間税会連合会第22回通常総会を開催しました。

当日は、広島国税局より齋川課税第二部長、中村消費税課長、天野鳥取税務署長、黒瀬米子税務署長、持田倉吉税務署長のご臨席をいただきました。

総会では、年間の事業報告・収支決算の承認をいただいた後、新年度は 1. 会員の増強並びに組織拡充 2. 消費税等に関する行政協力 3. 県内納税協力団体の連絡協調

の3つの柱のもと活動を進めることと決めました。

## 広島県間連青年部

去る、8月3日（火）ひろしま国際ホテルにおいて、昨年引き続き『新規会員の増強』をテーマとして第2回青年部大会を開催しました。

まず、青年部活動報告会では間税会の全国的な動きと今後の動向について、



単位会からは租税教育への取り組みについて報告がありました。

記念講演では、講師にプロゴルファーの上野忠美氏をお迎えし、「ゴルフとは・・・」と題し講演をいただき、プロとしての真摯な態度とゴルフの奥深さを垣間見ることが出来ました。このたびは、広く一般の方（会員候補者）にも参加していただける企画としたところ、会員を含め100名ほど集まりました。

その後の懇親会では、随所で交流が図られている姿が見受けられ、これを機に新規入会者が増えるものと期待できました。

最後に、安田県間連青年部長を中心に、来年も青年部大会を開催し、間税会を盛り立てて行くことを約束して会を締めくくりました。

エコデザイン  
NEW MAZDA  
PREMACY  
新・環境性能 MAZDA 誕生  
www.premacy.mazda.co.jp

# 単位会の活動

## 広島東間税会活動報告

去る、6月22日（火）ホテルセンチュリー21広島において、広島東間税会第22回通常総会が開催されました。

当日は、広島東税務署から甲斐署長、小田原副署長、吉山法人課税第一部門統括官をお迎えしました。



総会終了後、広島銀行法人営業部国際営業室の片島室長による講演会を開催し、中国の現状と今後について等大変興味深いお話を聞くことができました。

また、当日の懇親会には、地元で音楽活動をされておられるサクソ奏者1名とシンセサイザー奏者1名による生演奏を聞きながら、和やかな雰囲気の中で終了することができました。

## 岡山東間税会活動報告

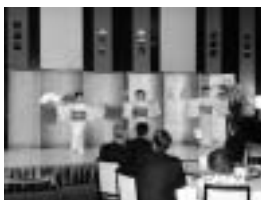
岡山東間税会はメルパーク岡山で第23回通常総会を開催しました。



同会には昨年、女性部と青年部が結成されたことから、今回は親会・女性部・青年部の合同総会となり、来賓に桂岡山東税務署長をお迎えし、会長、両部長の挨拶の後、平成22年度事業計画案を承認されました。計画案には「税を考える週間」の街頭PRやe-Tax等の研修会の開催などが盛り込まれています。

また、総会に先立ち岡山東税務署幹部の方々と青年部との「税務懇談会」が開催され、今後の間税会の在り方や租税教室などの必要性について意見交換が行われました。

総会後の懇親会では、会員の日本舞踏・藤間流の名取3人による「祝儀舞」が披露されました。



## 松江間税会活動報告

### ●通常総会の開催

去る、6月1日（火）、ホテル一畑において第22回通常総会が開催され、松江税務署及び中国財務局松江財務事務所からご臨席をいただき、総会終了後に来賓としてご臨席いただきました、川上松江財務事務所長による貸金業法の改正等に関する講演会を開催いたしました。

### ●『被爆アオギリ二世』植樹式参加

去る、7月8日（木）、「中国横断自動車道尾道松江線」の開通を控え今後ますます広島、松江両市の交流が深まることを祈念して、原爆で被爆しながら成長を続け、平和のシンボルである「被爆アオギリ二世」が広島西間税会から松江税務署に寄贈され、同日、松江市の松江地方合同庁舎水景広場に植樹されました。



松江税務署の職員ら約70人が見守る中、高さ約1mの苗木を大谷松江間税会会長、藤原税務署長ら5名がスコップで土をかけながら植えました。

## 鳥取間税会活動報告

鳥取県連の中心的役割を担っている鳥取間税会では、鳥取税務署の協力を得ながら税務研修会を毎年2回開催しております。

去る、5月20日（木）鳥取商工会議所5F大会議室において、平成22年度総会を行い、総会後に「平成22年度税制改正」について、講師に鳥取税務署法人課税第一部門秦野上席国税調査官をお招きし研修会を行いました。



会員をはじめ実務担当者など大勢の参加をいただき、回を重ねる毎に研修会参加者も定着してまいりました。

今後も間税会の活性化策として、研修会を継続して開催する予定です。

# 全間連委員会報告



## 総務委員

委員長 唯山重夫

去る、7月16日（金）に、全国間税会連合会総連合会本部において、全間連の総務委員会が開催され、出席してきました。

事前議題（①第37回通常総会 ②第37回通常総会議案書（予算・決算関係）について ③その他当面の諸問題について）に沿った会議運営で議論されました。

その後、各委員長と全間連との意見交換で出された意見、各局連の問題点、又参考になることについて、今後の会運営の中で十分反映させて行きたいと考えています。



## 財務委員

委員長 末光邦男

去る、7月14日（水）に、全国間税会連合会総連合会本部において、全間連の財務委員会が開催されました。

主な議題は、第37回通常総会の説明、総会への会員動員の御願いと組織増強への取組みについての意見交換であった。

会員は最近減少傾向にあり、組織の弱体化に繋がっている。

活性化等推進を予算計上しているので会員の増強に更に努力して欲しいと言う本部からの要請があったが、委員の中からもう少し会員になった時のメリットをPRし、会員になって良かったという印象を与える方が、より効果があるという意見等が出された。本会議で得た意見等、今後の運営の中で反映させて行く所存です。



## 会務運営委員

委員長 久保弘睦

去る、7月15日（木）に、全国間税会連合会総連合会本部において、全間連の会務運営委員会が開催されました。

議題については、①第37回通常総会②第37回通常総会議案書（案）（事業計画関係）について③今後における組織増強への取組みについて④今後における事業活動の進め方について⑤その他当面の課題について以上5議題で会議運営がありました。

会議の中で、次の3項目について活発な意見がなされました。

- ① 間税会の基本理念の再掌握とその周知徹底
- ② 会活動の活性化の為の具体的な活動の精査
- ③ 会員増強活動の具体的な精査

上記については、今後の会活動をする上で大いに参考となりました。

今後の活動、会運営の中で反映させて行きたいと思います。



## 税制委員

委員長 土岡正和

去る、7月22日（木）に、全国間税会連合会総連合会本部において、全間連の税制委員会が開催されました。

議事として 1. 消費税論議の動向等について 2. 税制及び執行並びに歳出に関する意見要望について 3. その他 の3点について、議論されました。

消費税制の動向等については、民主党ほか、各党が掲げているマニフェストについて確認し、今後の動きについて展望しました。民主党の参議院選挙の敗北をうけ、消

費税の見直しについては、具体的な検討の開始は少し先になるのではと思われます。

消費税を取り巻く状況については、江川全間連専務理事より説明をうけ、以下のような内容・問題点等を確認しました。税率に関しては政治判断によるが、税率が引き上げられる折には、低所得者への配慮から、食料品などには軽減税率の対象とする複数税率にするのか、新たに給付付税額控除制度を設けるのか、使途を福祉目的に限定する、福祉目的税とするかどうか等が、大きな論点となると思われます。軽減税率を導入し複数税制にすると、新たに消費税額を別記したインボイスの発行が必要となり、今まで以上の事務の煩雑化に繋がる。また給付付税額控除制度は、民主党・公明党のマニフェストに掲げてあるが、この制度を実施するためには、国民一人一人の所得の確定が必要となり、国民全員の納税者番号制度が必要となるなど、様々なクリアしなければならない問題が山積しています。

現時点では、税率が上がっても、軽減税率を導入した複数税制にせず、事務処理等の簡易な単一税制を維持しつつ、低所得者への配慮の必要性から、給付付税額控除制度を導入するのが好ましいという立場を、間税会ではとっております。この秋の、政府・関係省庁・各政党等に出す、税制及び執行並びに歳出に関する意見要望書には、今回の全間連常任理事会で承認された、税制委員会で取りまとめた、上記スタンスのものを出すことになります。

どちらに致しても、税制に関しては国会

で決定される問題であり、間税会で、決める事の出来る問題ではありません。しかし、この問題ともっとも関わり合いの深い団体は、間税会です。今後もしっかり議論し提言していきたいと思っております。

## 青年部

部長 土岡正和

去る、6月23日（水）全国間税会総連合会本部事務局において、全間連青年部役員会が開催されました。

今回の議案は、①今後の青年部の在り方について、②第32回全間連青年部通常総会の開催について、③その他当面の諸問題について、の3つの議案を審議いたしました。

また、各局連の活動報告がそれぞれの局の青年部長から有り、東京局からの、会員の予備軍となるサポーター制度の紹介等がなされ、よい情報交換となりました。

その後、国税庁より、植松消費税室課長補佐・三科消費税第二係長のご臨席をいただき、役員との意見交換を行いました。政権交代により、近年の消費税制を取り巻く環境が劇的に変化しており、間税会の為さねばならない役割が、ますます大きくかつ重要になってくるのお話を伺いました。

今度の総会において、部長交代により全間連青年部の体制が一新されることとなりますが、今まで通り、部長を中心に活発な活動を行っていくことを確認して、散会いたしました。



広島LPG物流センター

## 安定供給で 地域社会に奉仕する

安心して使える



広島ガスプロパン

〒736-0056 広島県安芸郡海田町明神町2番118号  
TEL082-821-3600

# 会員増強

## ○各間税会の会員数の状況

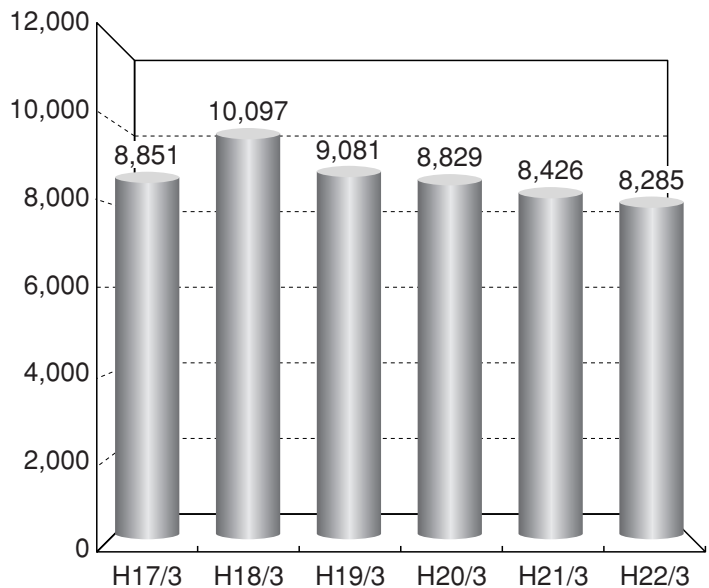
間税会名	H22.4.1		増減数
	会員数	組織率	
広島東	380	5.3%	5
広島西	257	2.7%	7
広島南	164	3.7%	▲6
廿日市	303	5.2%	▲62
呉	328	5.6%	▲18
海田	250	6.1%	▲17
広島北	237	2.9%	▲7
吉田	44	4.8%	▲1
東広島	160	4.5%	0
竹原	91	9.1%	2
尾道	194	4.2%	▲5
三原	58	2.5%	1
福山	183	1.6%	4
府中	71	2.5%	2
三次	102	6.9%	▲1
庄原	43	4.2%	1
広島県(計)	2,865	3.9%	▲95
山口	154	3.9%	▲11
岩国	287	8.1%	3
柳井	86	6.7%	▲40
徳山	432	8.7%	▲3
光	131	8.1%	▲9
防府	256	10.7%	55
厚狭	70	4.1%	▲1
下関	204	3.0%	4
宇部	121	3.0%	▲20
長門	76	7.3%	▲6
萩	100	6.9%	▲3
山口県(計)	1,917	5.9%	▲31
岡山東	372	4.5%	0
岡山西	386	4.2%	2
西大寺	76	3.0%	4
瀬戸	67	2.7%	▲3
玉野	51	3.6%	▲5
児島	65	3.0%	0
倉敷	135	1.6%	▲11
玉島	90	3.9%	▲8
笠岡	62	2.6%	▲4
高梁	62	7.5%	▲3
新見	84	11.1%	▲2
真庭	42	3.0%	▲3
津山	335	7.1%	27
岡山県(計)	1,827	3.9%	▲6
鳥取	234	4.4%	▲13
倉吉	120	4.3%	▲1
米子	144	2.6%	▲13
鳥取県(計)	498	3.6%	▲27
松江	252	4.2%	51
雲南	51	3.2%	▲2
出雲	183	4.4%	▲4
石見大田	107	9.9%	▲5
浜田	132	5.2%	▲6
益田	364	22.0%	▲10
隠岐島	89	13.4%	▲6
島根県(計)	1,178	6.7%	18
局間連(計)	8,285	4.5%	▲141

(注)「増減数」欄はH21年度の増減数である。

### 【広島国税局間税会連合会の目標】

- 局間連 会員数 9,000者
- 各間税会 20%増員・最低会員数100者

## ○広島局間連の会員数の推移



## ○会員数上位の間税会 (H22.4.1現在)

順位	間税会	会員数(者)
1	徳山	432
2	岡山西	386
3	広島東	380

## ○会員数増加上位の間税会 (H21年度)

順位	間税会	増加数(者)
1	防府	55
2	松江	51
3	津山	27

## ○組織率上位の間税会 (H22.4.1現在)

順位	間税会	組織率(%)
1	益田	22.0
2	隠岐島	13.4
3	新見	11.1

## 広島局間連からのお知らせ

### 貴方は『間税会バッチ』をもらっていますか？

バッチご希望の会員の方は、1個1,000円にて販売いたしますので、下記へご連絡して下さい。



広島国税局間税会連合会事務局

TEL 082-242-1166

FAX 082-242-1318

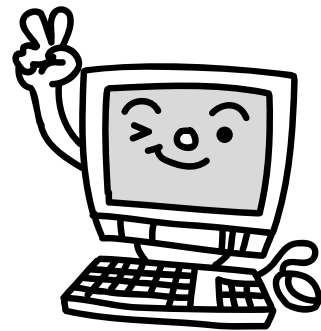
#### バッチデザインの由来について

かつて間税職員が着用していた制服ボタン（金ボタン）にあしらわれていたことから、間接税行政を表し、日本国を表す菊の花弁12枚を配することにより、12の国税局単位の連合会が集結して間接税行政を支えるという意味を込めたものです。

### 広島国税局間税会連合会のホームページが開設されます!!

- 開設 日：平成22年9月15日（予定）
- ホームページアドレス：<http://www.hiroshima-kanzeikai.jp>
- 主なコンテンツ：1. ご挨拶 2. 間税会組織図  
3. 活動報告／お知らせ 4. 会報 等

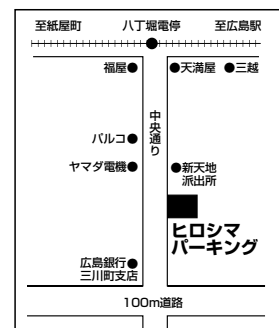
また、開設に伴い、各県間連、単位会毎にメールアドレスが付与されます。詳細については、後日、各県間連・単位会事務局あてご案内いたします。



ワゴン車・RV車OK  
300台収容

**P ヒロシマパーキング**

「新月」の跡地  
広島市中区三川町1-18 TEL(082)247-1144



## 会 員 を 訪 ね て …

### 三洋電機コンシューマ エレクトロニクス株式会社

1966年7月、鳥取県および鳥取市の誘致企業として、鳥取大学跡地に鳥取三洋電機(株)として創業し、2008年4月1日、三洋電機コンシューマエレクトロニクス(株)と社名変更しました。現在、当社が開発・生産・販売している代表的な商品は、ナビゲーション「名称：Gorilla」、圧力IHジャー炊飯器「名称：おどり炊き」などです。

当社は、三洋電機グループの一員として、地球といのちに喜ばれる「環境・エネルギー先進メーカー」への進化をめざし、モノづくりの原点に立ち返り、「環境」「エネルギー」「ライフスタイル」の3つの視点から地球といのちへの貢献に取り組んでいます。当社が取り組んでいる地域貢献活動の中で、代表的な活動を2つ紹介いたします。

#### 『鳥取しゃんしゃん祭り』

毎年8月に開催される鳥取市最大の祭り、「鳥取しゃんしゃん祭」に創業以来毎年参加し、地域の振興に取り組んでいます。この祭りには、約80団体・約4000人の踊り子達が参加しています。当社から参加する踊り子は「三洋連」として、毎年祭りを盛り上げています。



#### 『一斉清掃』

##### ・鳥取砂丘一斉清掃

年2回、春と秋に実施される鳥取砂丘の一斉清掃に、地域から3,500人のボランティアが参加し、砂丘の美化に努めています。当社も毎回150人の社員・家族が参加しています。



##### ・日本列島クリーン作戦

「小さな親切運動」が全国一斉に実施する清掃活動です。当社は山陰海岸国立公園内にある「白兔海岸」「浦富海岸」の一斉清掃に参加しています。

#### 編集後記

植田広報委員長が5月にご退任され、後任として広報委員長をお引き受けさせていただきました。今後とも宜しく御願ひ致します。

今後、広報委員の皆様と相談するなか、読んで楽しい「間税だより」の発刊を目指して取り組んで行きたいと思ひます。

皆様方のご要望、ご意見等を局間連事務局までご連絡下さい。

(吉岡文朗)

## ファースト・コール・バンク

真っ先にご相談いただける銀行を目指します。

地域の皆さまに愛され、信頼される銀行になるため全役職員が一丸となって努力を続けてまいります。これからも(ひろぎん)をよろしくお願ひ申し上げます。

(ひろぎん)ホームページ <http://www.hirogin.co.jp/>



©HIROSHIMA BANK  
(ひろぎん)イメージキャラクター「ひろくん」

広島銀行